



グルモール

第4号

JAPANESE SCHOOL NEW DELHI 2026

令和8年7月31日(金)

教科書では学べない学びを学校行事から学ぶ

～「ようこそ！JAPAN☆DAY」が子どもたちに育むもの～

校長 尾後貫 智

先週、本校では国際交流行事「ようこそ！JAPAN☆DAY」を実施しました。たくさんの保護者の皆様のご参観をいただき、ありがとうございました。この行事は、単に現地校と交流するイベントではありません。子どもたちが世界へ羽ばたくための「人間力」を育てる貴重な学びの場です。交流を通して、子どもたちはまず「日本を見つめ直す」ことに気づきます。インドの友だちから「日本ではなぜ掃除をするの？」「どうしてランドセルを使うの？」と尋ねられることで、自分たちが当たり前だと思っていた日本の文化や習慣を改めて考えるようになります。日本以外の国を知ることは、実は日本を知ることでもあります。

近年の教育界では、「学校行事を減らし、その分授業時間を増やした方が学力向上につながるのではないか」という声を耳にすることがあります。確かに、学校行事には準備や練習の時間が必要です。それらの労力と時間を計算や漢字、英語の学習に充てれば、知識を増やすことはできるかもしれません。しかし、日本の学校教育の目的は、知識を身に付けることだけではありません。思いやり。挑戦する勇氣。協働する力。違いを認める寛容さ。そして、自分の国に誇りを持ちながら世界とつながる力。これらは、点数で測ることのできない力です。しかし、子どもたちが幸せな人生を歩む上では、決して欠かすことのできない力でもあります。このように自分らしく幸せに生きていく力を育てることこそ、日本の学校教育の大切な使命であると私は考えています。その力を育む上で、学校行事はかけがえのない教育活動であると位置付けています。

実際の交流の場面では、英語が上手に話せた子もいました。思うように話せなかった子もいました。しかし、本当に大切なのはそこではありません。ある子は、言葉が出てこなくても笑顔で身振り手振りを交えながら一生懸命伝えようとしていました。ある子は、相手が困っている様子を見ると自然に近寄り、助けようとしていました。またある子は、自分から勇氣を出して話しかけ、「通じた！」という喜びを全身で表現していました。コミュニケーションで最も大切なのは、語学力だけではなく、「相手を理解したい」「自分の思いを届けたい」という気持ちです。初めは緊張していた子どもたちも、勇氣を出して話しかけ、「伝わった！」という成功体験を重ねることで、自信を深め、これから様々なことに挑戦する大きな力に育っていくと思います。

これらはすべて、教科書には載っていない学びです。

日本人学校は、日本の教育を大切にしながら、異国の地で貴重な学びを経験することができる学校です。交流の中で、一人ひとりが「小さな親善大使」となり、日本の文化や礼儀、思いやりを伝えるとともに、相手の文化を尊重する経験を積んでいます。これは、日本国内ではなかなか得ることのできない貴重な学びです。自分の国を大切にする心、相手を尊重する心、違いを認める寛容さ、世界へ挑戦する勇氣、そして世界中の人と協力して生きる力を育む教育活動です。

このように学校行事には、教科書だけでは決して学ぶことのできない大切な学びがあります。だからこそ本校では、一つ一つの行事を大切に、子どもたちの未来につながる教育をこれからも積み重ねてまいります。保護者の皆様には、今後とも本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



7月のトピック



スローガン: ようこそ!! 和の心で楽しもう!!

ようこそ! JAPAN☆DAY ～ BBS のみなさん、ようこそ NDJS へ ～

30 年以上も続く恒例の現地校との交流イベントです。BBS (Blue Bells School) には日本語を学ぶ生徒もいて、日本に興味関心を持っている人も多いそうです。この行事に向けて、本校の児童生徒たちは夏休み明けからずっと準備をしてきました。日本の伝統楽器の演奏、民謡の現代版ダンス、盆踊りや縁日を思い出させるコーナー巡りなどなど、学年のテーマについて考え、作り、練習しインドのお友だちに披露しました。



＜児童生徒数＞

※7月31日現在

スーリヤ生は交流学級に計上

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	スーリヤ	計
男子	10	10	16	14	22	18	12	5	14	(6)	121
女子	7	26	20	16	16	15	20	11	10	(2)	141
計	17	36	36	30	38	33	32	16	24	(8)	262